



2021年10月25日

各 位

会社名 株式会社ベネフィット・ワン
代表者名 代表取締役社長 白石 徳生
(コード番号 2412 東証第一部)
問い合わせ先 取締役常務執行役員 尾崎 賢治
(TEL. 03-6870-3802)

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、本年5月12日に公表しました2022年3月期第2四半期(累計)(2021年4月1日～2021年9月30日)の連結業績予想を修正することとしましたので、以下のとおり、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,670	百万円 5,280	百万円 5,330	百万円 3,630	円 銭 22.81
今回修正予想(B)	18,740	6,880	6,880	4,820	30.29
増減額(B-A)	+1,070	+1,600	+1,550	+1,190	—
増減率(%)	+6.1%	+30.3%	+29.1%	+32.8%	—
(参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	17,190	4,454	4,487	3,071	19.30

2. 修正の理由

2021年5月12日付で公表いたしました2022年3月期の業績予想においては、福利厚生事業の会員のサービス利用や購買・精算代行事業の出張利用における新型コロナウイルス感染症の影響は下期にかけて徐々に回復する見通しを立てており、その他の事業では大きな影響は見込まず、ヘルスケア事業を中心とした取引拡大、利益成長を前提に業績予想を策定しておりました。

実際には、①新型コロナウイルス第5波の長期化に伴い、福利厚生事業におけるレジャーメニューなどの会員向けサービスの利用回復が後ろ倒しとなったこと、②新型コロナワクチン接種の急速な拡大に伴う支援事業が伸長したこと、などの事由により、第2四半期累計期間の業績予想数値が前回発表予想を上回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

下期も引き続き、①福利厚生事業における会員向けサービス利用の回復状況、②3回目の新型コロナ

ワクチン接種の実施状況など、動向次第で当社業績に影響を及ぼすと考えられる変動要素があることから、通期の業績予想につきましては、2021年5月12日公表の数値を据え置くことといたします。開示すべき内容が判明次第、速やかに開示いたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上